

# 思い出の修学旅行

一字一筆  
静岡の今  
108

秋は旅情をそそられるが、今年の秋は政府の観光支援策「Go To トラベル」事業の利用者が9月末までに2500万人を超え、各地の行楽地がにぎわっている。各種支援策を使って高校の同級生8人で中伊豆方面に1泊2日の

「温泉とゴルフ」旅行をした。ゴルフ前夜の宴会は、約60年前にこの仲間と行った修学旅行の思い出で盛り上がった。みんな青春時代のあの旅があったから、こうして生涯の友人になれた、と思った。

への修学旅行を禁じた県教育委員会は、9月末に県立109校(全日制88校、定時制・通信制21校)の修学旅行の動向調査を実施した。それによると、19校が「今年度の修学旅行を中止する」と回答。うち7校は修学旅行に代わる行事を行うことにし、さらに7校も代替行事を検討していることがわかった。

代替行事の訪問先としては、長野県内のスキー場、富士急ハイランド(山梨県)、ナガシマスパーランド(三重県)、伊勢神宮(同)、メロン狩り(愛知県)、高山散策(岐阜県)など。感染防止の配慮から、代替行事も「近く」「短く」なる傾向がうかがわれる。代替行事を行わない高校も5校(9月末時点)あった。

「中止の修学旅行」には悔恨しか残らないが、「コロナ禍での修学旅行」はそれなりに生涯の思い出になる。

二十四節気の霜降(10月23日)が過ぎた。ゴルフ場のある天城連山は紅葉の中。秋空に向けたはずのショットが谷間に消えた。パートナーから遠慮のない笑い声が上がった。

昔の修学旅行仲間たちの間を、さわやかな秋風が吹き抜けた。

(前静岡県監査委員・富永久雄)

秋空の「いわし雲」||沼津市、全日写真・福島耕司さん撮影

